

まちづくり研究会が勉強会を実施！

～藤枝駅前一丁目9街区市街地再開発事業～

要約すると

- 今年度最後となる第6回まちづくり勉強会を実施
- 権利者アンケート調査結果や基本計画案、今後の課題とスケジュール案等を説明

藤枝駅前一丁目9街区まちづくり研究会（鈴木健夫会長）は27日、日の出町会館で令和元年度最後となる第6回まちづくり勉強会を実施し、権利者アンケート調査結果や個別ヒアリングのまとめ、基本計画案、今後の課題とスケジュール案等を説明し協議しました。

当街区は、本市初の都市再開発法に基づく市街地再開発事業で誕生した“フジエダミキネ”の北側のエリアで、地区面積0.3haです。

権利者のまちづくりに対する熱意から取組が始まり、平成29年度と平成30年度には有志の会として地元独自で勉強会を計4回開催し、昨年4月にはまちづくり研究会が発足。全権利者が同研究会に加入し、早期事業化に向け今年度は6回に渡って勉強会を実施してきました。

本市としては、再開発を核としたまちづくりの指針である「藤枝駅前地区市街地総合再生基本計画（計画期間：R1～R10年度）」に当街区を位置付け、今年度から基本計画作成と地元活動支援を行っております。

人口減少・少子高齢化に対応した生活支援機能の充足、環境・防災機能の強化により、駅前地区再開発コンセプト「持続可能で魅力あふれる徒歩圏暮らし」を実現するため、他地区の再開発事業と併せ、早期に当街区の事業が実現するよう今後も積極的に支援し、街なか居住を促進してまいります。

9街区完成イメージ

